

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

93号
2018年2月16日

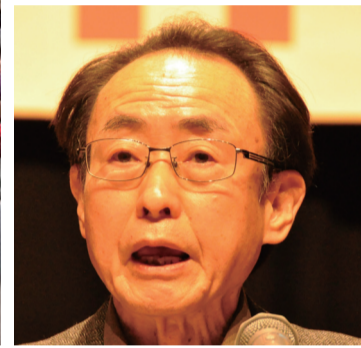
国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

国鉄闘争 新たな闘いへ

国鉄分割・民営化による不当解雇から31年 2・11国鉄集会に630人



国鉄闘争全国運動は2月11日、船橋市勤労市民センターで国鉄集会を開催し、630人が結集。1047名解雇撤回の新たな闘いを宣言しました。



新たな労働委員会闘争の意義

金 元重 (国鉄闘争全国運動 呼びかけ人)

2015年6月の最高裁決定は、動労千葉の組合員のJR不採用について、国鉄分割・民営化に反対する労働組合の組合員であることを理由にした不当差別だとして、不当労働行為と損害賠償請求を認める一審・二審の判決を維持しました。不当労働行為について一定の勝利をものざ取ったことの意味は、けっして小さくありません。

弁護団長の葉山弁護士は、単



労働運動として闘って勝利する

葉山岳夫 (動労千葉 顧問弁護士)

動労総連合は1047名解雇撤回・原職復帰闘争の重要な闘いとして、JR東日本の団交拒否の不当労働行為に対して労働委員会闘争を闘うことを決定しました。

1987年2月2日ごろ、国鉄職員局長葛西敬之と、国鉄総裁室長の井手正敬がJR設立委員会の委員長の斎藤英四郎を訪問して、談合し、斎藤委員長



が命じて、葛西が組合活動家排除の目的で新会社への不採用基準を策定しました。

解雇撤回・JR採用を求めるJR東宛署名

4万83筆 (18年2月16日現在)

なる裁判闘争ではなく、労働運動の一環として裁判闘争を闘いぬいた成果だと評価されています。傍聴闘争や署名運動を展開し、最高裁では9次にわたる提出行動、10万筆以上の署名を集めて、裁判闘争を展開した成果だと動労千葉と全国の国鉄闘争支援運動の渾身の努力を高く評価されている。

不当労働行為が法的に認定されたのだから、動労千葉としては当然のこととしてJRに対して

して解雇撤回・JR採用を求めて団体交渉を申し入れました。しかしJR東日本はこの裁判が鉄建公団・鉄道運輸機構を相手にした裁判であり、直接JR東日本を相手にした裁判ではないことを口実にして「当社は当事者ではない」「最高裁決定とJR東日本は関係ない」と応じようとしています。JR設立委員がなした行為はJRがした行為とする国鉄改革法23条にあるにもかかわらず、自分たちが

団結し闘う労働組合をつくろう

花輪不二男 (国鉄闘争全国運動 呼びかけ人)

この集会で問題にしたことの原因は、政府と資本が偽装倒産をした、それで労働者を排除した。民間に移したと称して、もうかる路線だけ残し、もうからないところを切り捨てる。公共

交通だと自負した国鉄の時代は何だったのか。恥を知れ！われわれは職場の主人。われわれはけっして倒れない。団結して闘おう。闘う労働組合をつくろう。

この労働委員会闘争を労働運動として展開することが必要だと強調されました。労働委員会を説得すると同時に、今の日本の労働運動において1047名解雇撤回闘争がど

東京地裁・白石裁判長は12年6月、この不採用基準の策定は不当労働行為であるという判決を出し、13年には、東京高裁・難波裁判長がこれを認めまし

た。鉄道建設運輸機構は上告して難波判決をひっくり返そうとしました。しかし国鉄闘争全国運動の、9回にわたる10万筆を超える署名を提出するなどの運動は、確実に最高裁を動か

した。15年6月、鉄建機構の上告棄却決定を勝ち取りました。87年2月12日の第3回設立委員会合は、この不採用基準を

作った不採用基準の責任逃れに躍りになっています。私たちは、正当な解雇撤回、団体交渉要求に応じないJR東日本に対して、労働委員会に命令を出させ、団交を実現して、解雇撤回・JR採用を迫る労働委員会闘争を新たに展開することにしました。

果たして労働委員会は、われわれの闘争課題の力になってくれるだろうか。今日、労働委員会の弱体化とか萎縮が言われて久しい。しかし、われわれの新たな労働委員会闘争は、単なる労働委員会闘争ではありませ

ん。葉山弁護士は「労働運動として裁判闘争を闘ったように、この労働委員会闘争を労働運動として展開することが必要だ」と強調されました。労働委員会を説得すると同時に、今の日本の労働運動において1047名解雇撤回闘争がど

決定しました。斎藤委員長が作

成を命じ、設立委員会で決議された不採用基準が不当労働行為とされたのであります。国鉄改革法23条5項では、採用に際して設立委員会のした行為は、新会社すなわちJRのなした行為とする」と明記されています。斎藤委員長のみならず設立委員会全体が決議した不採用基準がまさに不当労働行為だったので。JRは解雇撤回・原職復帰について直接に責任を負

任がある。JR東日本は当事者ではないと団交を拒否していま

のような意味があるかを徹底的に運動として展開することによって労働委員会を動かす。それしかないと思います。労働運動の一環としての労働委員会闘争は、それをどのように力強く進めるのかを私たちに課していると思います。

これまでの国鉄闘争の中で、労働委員会が数々の命令を出したにもかかわらず、それを無視し、司法もそれを覆してきませんでした。けっして道は平坦ではないですけれども、不当労働行為という認定を最高裁を下した。これは過小評価すべきではない。むしろ武器としてこれから展開していくべきだろうと思います。

不当労働行為の根底には団結権の保障ということがあって、これは国鉄闘争だけでなく、日本の労働運動全体にとって、戦後労働法制を守るか、なし崩しにされるかという瀬戸際の岐路でもあります。今回の労働委員会闘争の位置づけを私たちは再度確認して、力強い闘争をしていきたいと思っています。

すがとんでもない間違いです。不当労働行為については少なくとも原状回復が大原則です。

いま労働委員会は、率直なところ安倍政権のもとで反動攻撃を受けて、反動化しております。弁護団と当該の力だけではこの当然の道理を労働委員会に認めさせることは難しいです。あくまでも労働運動として闘うことで、労働委員会闘争に勝利できます。みなさんと共に徹底的に闘い、勝利したいと思えます。労働者の団結の力は偉大です。必ず勝利しましょう。

解雇撤回へ新たな運動に進む

動労千葉協議会

中村仁

これから労働委員会闘争に向かうわけですが、JRへの不採用は設立委員会が決議した。つまり設立委員会がJRに行かせないことを決議した。これは不当労働行為です。

だから、われわれはJRに戻りたくない。われわれはJRに行かなく、北海道や九州でJRに行けなかったことに対しても絶対に闘う。

対にこじ開けなきゃいけない。1047名全体がJRに戻る闘いを一緒にやっていきたい。

うちの組合員は本当に頑張っています。エルターとして外注先のCTSに行き65歳までの5年の間でこの言いたくないけど、でも本場にひいどい職場です。労働者が声を上げることは当たり前なんだとちゃんとお話筋をつけなくてはならない。

自分たちが65歳を超えても、次に職場に残る人たちが「動労

千葉と一緒に闘ってよかった。動労千葉が来たおかげだ」というふうにしたい。

私たちが「国鉄分割・民営化で排除したのは間違っていた」とJRに思わせる闘いをしなければいけない。

労働者と資本家がいて、資本家が間違っていると資本に言わせないと駄目だと思います。

われわれは闘つし、皆さんもぜひ職場で闘っていただきたい。何歳になっても、何をしても死ぬまで絶対にJRに帰りません。よろしくお願いします。

1047協議会代表

小玉忠憲

動労総連合1047名協議会結成の過程は本場に時間がかかりました。不当労働行為はな

外注化阻止へ組織拡大で闘う

動労千葉副委員長

関道利

2月21日に第1回の外注化阻止裁判の控訴審が東京高裁で行われます。一発結審もあり得るそうです。結審策動を打ち破るためにも傍聴への大結集をお願いします。

外注化攻撃と18年間、総力で闘ってきました。分割・民営化が強行された87年4月1日は国鉄労働者にとって忘れられない日です。強制出向させられた人間にとつて12年10月1日は忘れられない日です。JR-CTS

ている運動の芽をとらえ、さまざまな運動傾向、思想潮流の違いを越えて、それらを大きな流れに作り上げることで、房総における運動の展開は私たちに大きな示唆を与えています。

今年を反撃への確実な一歩を踏み出す年にしよう。本集會が皆さんの知恵と力を結集する場になることを確信します。

(集會メッセージ)

かったこととする。二度と争わないと約束すれば金をやる」というのが4・9政治和解でした。十数万人が職場を追われ1年で200人を自殺に追い込み、最後まで闘い抜いた7628人を不採用にしておいて、気がついたら「本州3社では定員割れで全員採用だ」と。その中から不採用基準を設けて動労千葉と私たちが定員割れでも不採用にして首を切った。この過程を私

たちは忘れることはできないし、労働者として黙って見過ごすことはできません。和解を拒否した4人の仲間、生活のために和解に応じざるをえなかった仲間、そしてまた国労闘争団であっても和解そのものから排除された仲間もいます。この人たちが一つになって、動労総連合の旗のもとに結集して、1047名の闘いを終わらせない、勝利まで闘いを貫く。

このいう趣旨で1047名協議会を発足しました。私たちは、動労千葉の労働委員会闘争と並んで、JR北海道、JR九州に対して、ローカル線廃止を許さない、分割・民営化は間違っていた、1047名解雇を撤回しろ―これを掲げて新たな署名運動を開始したいと思います。

多くの皆さんに呼びかけたところ、国労田町電車区分会の先

街宣行動、JR東本社前で抗議集會を展開しました。内房線と地域を守る会と連携し署名を千葉支社に提出しました。

JRは今回のダイヤ改正で、外房線の各駅停車5本の削減を提案してきました。地方ローカル線切り捨てに断固反対します。これは全国の問題です。これからも地域の皆さんと共に闘っていきます。

動労千葉組合員は全員が無期転換ですけれども、4〜5人が雇い止めの通告がなされた。管理者に食ってかかった職場の仲間には15年以上も働いて永年勤続表彰をもらった人です。そういう人を紙切れ一枚で雇い止めます。本場に許さない。

契約社員やパートは10〜12万円日働だけでは食えない。無期転換で良かったでは済まない。ここでつくれた闘いや団結で労働条件に穴を開けていく。無期転換連絡会が呼びかけられています。一緒に無期転換を申請することを通して職場を変えたい。CTSを見てくれと言いたいところだ。

千葉運転区支部長 高澤成夫

昨年3月のダイヤ改では本線乗務員のストに決起し、館山駅で

「被曝と帰還を強制する常磐線の全線開通反対」で署名運動を開始します。福島原発事故、福島切り捨ての一番の激突点が常磐線の全線開通だと思つて常磐線は仙台から品川まで行っています。放射性物質をまき散らしながら電車が走る。この地域でも集會などを開いて闘っていききたい。

動労福島委員長 橋本光一

動労福島は郡山総合車両セン

このように、あるいは国労の中心で活動してきた作家集団の皆さんが事務局に入っていたら、「1047協議会」とも闘う会、これは仮称ですが、そういう団体を発足させると、本場に限りない勇気ももたらす決断をいただきました。闘いはこれからです。

今後とも皆さん、よろしくお願いします。

総連合と新潟地域一般労組をしつかりと固めて、地域の労働組合と一体となった改憲阻止の新潟バージョンを成功させて、全国の仲間と一体となって闘っていきたくと思っています。

動労神奈川委員長 中村幸夫

桑原副委員長は3月に、無期転換が可能かどうかという瀬戸際に立っています。団交では「法律に則つてやる」と言ったんですけど、彼らの言葉は信じない。明日、小田原で街宣と集會を予定しています。闘っていききたい。

動労西日本委員長 大江照己

山田書記長の雇い止め、尼崎事故に起因する労災問題、広島印刷事業所廃止を展開してきました。私の職場、五日市駅では時間外の労働拒否闘争を、セブンスイレブンをトラックの労働者などの共感をいただいで展開しております。

4月22日の尼崎現地闘争に集まって下さい。3月1日にはストライキを構えています。絶対に外してはならない運動保安闘争です。

動労水戸委員長 石井真一

「被曝と帰還を強制する常磐線の全線開通反対」で署名運動を開始します。福島原発事故、福島切り捨ての一番の激突点が常磐線の全線開通だと思つて常磐線は仙台から品川まで行っています。放射性物質をまき散らしながら電車が走る。この地域でも集會などを開いて闘っていききたい。

動労水戸委員長 石井真一

動労水戸は郡山総合車両セン

このように、あるいは国労の中心で活動してきた作家集団の皆さんが事務局に入っていたら、「1047協議会」とも闘う会、これは仮称ですが、そういう団体を発足させると、本場に限りない勇気ももたらす決断をいただきました。闘いはこれからです。

今後とも皆さん、よろしくお願いします。

動労水戸委員長 石井真一

動労水戸は郡山総合車両セン

このように、あるいは国労の中心で活動してきた作家集団の皆さんが事務局に入っていたら、「1047協議会」とも闘う会、これは仮称ですが、そういう団体を発足させると、本場に限りない勇気ももたらす決断をいただきました。闘いはこれからです。



◎伊藤晃(呼びかけ人)

本年、改憲をめぐる攻防、戦争に対する戦いは緊張した局面に入らざるを得ない。戦争の危機を煽り立て、政治・社会の全体にわたる憲法問題、つまり戦後体制の変革を進める支配集団に抵抗する陣形を強めなければなりません。私たちにとつての重要な戦線は、戦後労働法制度の解体であり、社会的な公共性・共同

性の急速な破壊への反撃であります。これらのことが進行するならば、そこに生ずる労働者・国民の分散は、戦争・改憲に反対する力を社会の根底で崩していくことになるでしょう。

私たちは、労働者階級の生存と社会存立との条件を奪つことで投機的資本主義だけが肥大していく現実を終わらせるために、労働運動の再建に引き続

き努力しなければなりません。人びとが生きられない現実に対する不安と怒りは確実に高まっています。肝腎なのはそれらを運動に実現する努力です。国鉄闘争全国運動によって職場と地域に運動を築くため、この数年間多くの試みをなしてきた私たちの任務はますます大きくなっています。

大切なことは全社会に生まれ

き努力しなければなりません。人びとが生きられない現実に対する不安と怒りは確実に高まっています。肝腎なのはそれらを運動に実現する努力です。国鉄闘争全国運動によって職場と地域に運動を築くため、この数年間多くの試みをなしてきた私たちの任務はますます大きくなっています。

大切なことは全社会に生まれ

き努力しなければなりません。人びとが生きられない現実に対する不安と怒りは確実に高まっています。肝腎なのはそれらを運動に実現する努力です。国鉄闘争全国運動によって職場と地域に運動を築くため、この数年間多くの試みをなしてきた私たちの任務はますます大きくなっています。